



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBÉ PORT KOBÉ PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988
神戸ポートワイズメンズクラブ
〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-11
神戸 YMCA 内
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479

第1例会第4水曜日 18:30-20:20
第2例会第1木曜日 19:00-20:30

第415号
2022年7月

会長(CP)中山迅一テーマ: 地域での活動を広めよう Let's spread the activities in the community

国際会長(IP)K. C. Samuel (India)

Theme: Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT (フェロウシップとインパクトで次の100年へ)

アジア太平洋地域会長(AP)Shen Chi-Ming(Taiwan)

Theme: Elegantly Change with New Era 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

西日本区理事(RD)主題・スローガン: 田上 正(熊本むさし)

テーマ: 原点を知り将来に生かす Know the origin and utilize it in the future!

六甲部部长(DG)若林成幸(宝塚)

テーマ: 困難な時にこそYMCAと共に進もう "Let's proceed with YMCA in difficult times"

7月強調月間 Kick-off & PR

新しい期のスタートにあたって、外部への広報と、内部への情報共有の有り方を、今一度考えてみましょう。 大槻信二 (広報・情報委員長 (京都センチュリークラブ))

<7月第1例会>

新しい期のスタートです。六甲部でも一番若い中山会長のスタートです。神戸ポートクラブの良さを見つめ直し、一歩ずつ進みましょう。入会式もあります。仲間が増えてわくわくしてきました。

ZOOM 会議室: ID:846 0891 4755、PC:880508

<記>

- 日時: 7月27日(水)午後6時30分~8時20分
- 場所: 神戸 YMCA 三宮会館&ZOOM 会議室
- ドライバー: 丹羽和子ワズ
- 開会点鐘: 中山会長
- 幸田兵衛さん入会式・六甲部部长訪問
- 卓話「2022年YMCAの今、そしてこれから」
神戸 YMCA 総主事 井上真二様
- 会長所信表明(活動計画)、諸連絡、YMCA 報告
- 今月のお誕生日、ニコニコ
- 閉会点鐘: 中山会長

HAPPY BIRTHDAY !

2日: 廣瀬献児ワズ

<2021-2022年度のファンド・累計>

	6月	累計
ニコニコ	1,000円	53,041円
物品販売	0円	7,000円
じゃがいも	0円	231,500円
新玉ねぎ		25,200円
合計		316,741円

<6月出席状況>

出席率: 83.3%(出席数)15/18(出席率対象会員数)
充足率: 104.5%(出席数)23/22

<今後の主な予定>

<7月第1例会>

7月27日(水)神戸 YMCA 三宮会館&ZOOM 会議室

<8月第2例会>

8月4日(木) 19:00~20:20 オンライン

<8月第1例会>

8月24日(水)神戸 YMCA 三宮会館&ZOOM 会議室

「日本のロボット産業」吉田由美ワズ

神戸真生塾夏まつり参加は中止(支援のみ)

<2022年7月の聖句>

「それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。
「これは、あなた方のために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」
食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。

ルカによる福音書 22:19

2022—2023年度クラブ役員

【会長】中山迅一【副会長】大野 勉【直前会長・書記】宮内伸浩【会計】水野雄二【監事】丹羽和子【担当主事】松田道子

会長メッセージ

中山 迅一

新しい期が始まりました。今期は「地域での活動を広める」ということを掲げて活動をつくっていきたいと考えています。

神戸ポートのメンバーになってから1年でコロナ禍が始まり、今までの活動を殆ど知らないままにここまで来ております。まだまだコロナの余波が収まっていない中で、コロナ前の活動を目指すのではなく、今できることを精いっぱい形にしていく、そんな期になると思っています。また、今できることを考えた時、それはつまり地域に今一步踏み出していくということではないかと考えました。そういった中では、今までのことを殆ど知らない私がお役に立てることもあるのかもしれないと思い、会長を務めさせていただいております。今期、一つでも新しい景色を皆さんと一緒に創りだすことができれば嬉しいと思っています。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。



<今月の聖句について>

最後の晩餐の時にイエス様が語られた言葉です。その中の「記念として」はギリシャ語のアナムネーシスという言葉で、想起するとも訳され、キリスト教の礼拝の基礎となっています。

アメリカの緊急医療現場のテレビドラマの一場面で、搬送されてきた高校生に、医師から難しい病気で余命半年と告げられます。どこかに消えてしまいたい、両親にも告げず旅に出ると自暴自棄になる青年、向き合う精神科の医師。医師は「旅に出るのは良いことだ、でもどこかで一人で死んでしまうかもしれない。君が死んだ後、残された両親に旅に出る前の君のことを私は伝えたい。そのために動画を残す。」と言ってスマホを向けます。言葉の出ない青年に「では君が残したい五つの出来事を思い出してくれ」と言います。長い沈黙の中で青年は一つずつ思い出そうとします、その内、青年の目に涙があふれてきます。その後、青年は両親に病気のことを告げ家族で悲しみを共にしました。礼拝は、こんな私をもイエス・キリストが命をかけて愛してくださっていることを想起することで、神の恵みの大きさに気付き力を得られる場でもあるのでしょうか。丹羽和子

方となら一緒に何かやっていけるのではと強く感じました。

私の父（現在満104歳）も神戸YMCAに非常に感謝していることも申し上げなくてはなりません。「戦前、YMCAの英語学校へ通い、チャペルでキリスト教というものに触れ、バスケットもした」と父の青年時代の良き思い出を聞かされております。父は、キリスト教や米国の文化に薫陶を受けたことを今でも誇りに思い、「YMCAに行っていなければ全く人生が違ったものになっただろう」と言っておりました。かくいう私もメソジストのミッション・スクールに通うこととなり、少なからずキリスト教とのご縁は感じております。

私自身も会社の経営と老いた両親のお世話で必ずしも十分な活動ができないのではと非常に不安ではありましたが、「無理をせずにできることをやれば良い」との示唆もあり、できる範囲内で活動をするということでは何とかお許しを受け、お仲間に入れて頂ければ幸いです。皆様、どうぞこれからご指導のほどよろしくお願いいたします。

あなたこそワイズメン！ようこそ神戸ポートクラブへ！

新入会 幸田兵衛さんからのご挨拶

この度は、Y's メンズクラブに迎えて頂いて有難うございます。この日を迎えられたことを感謝いたします。

まず、私が当クラブに入会することになったきっかけは、大野智恵さんからの誘いがあったことです。少人数の有志で高校の同窓会があり、その際ワイズのボランティア活動についておぼろげではありますがお話を伺いました。

その後の連絡で、私も中学生時代にYMCA余島キャンプや母池へのスキーに参加したことや今の会社に転職した際に英会話を習いに行ったことなどもお伝えしました。「貴方こそ当会にふさわしい人では」とY's メンズへのお誘いを受けました。その後、zoomでの定例会や近江八幡への日帰り旅行にゲストとして参加させて頂きました。特に旅行は楽しく、非常に有意義なものとなりました。このような

<6月第1例会報告>

- ・日時:2022/6/22(水)19:00-20:20
- ・場所:神戸 YMCA 三宮会館&ZOOM
- ・出席者:メンバー大野勉、大野智、小田、北島、郡、園田、中山、丹羽、松田、水野、山田(以上対面)宮内(遠隔)12名
- ・ビジター東京c佐藤ワイズ、東京むかでc櫻井ワイズ、ネット奈良c中井ワイズ、神戸c原ワイズ、岡山c竹内ワイズ
- c=クラブ (全て遠隔)5名
- ゲスト幸田兵衛さん(遠隔)山本智子さん(対面)1名

<例会内容>

昨年、神戸ポートクラブは、東京むかでクラブ、石巻広域クラブとDBCトライアングルを結び、締結を記念して3クラブ合同の事業『思い出のランドセルギフトプロジェクト』を立ち上げました。今回は、そのきっかけを作ってく

ださった東京むかでクラブメネットの櫻井啓子さんのお話を伺いました。

櫻井さんは、退職後「恩返し的人生」との思いで、公益財団法人ジョイセフという世界の妊産婦と女性の命と健康を守る活動をしている国際協力 NGO で精力的に活動されています。その活動の一つに今回の『思い出のランドセルギフト』があり、この活動をワイズも共に取り組むことになりました。

アフガニスタンの子どもたちに、日本で使われなくなったランドセルを贈ることは、SDGs の観点からも大変有意義な活動であること、ランドセルを贈ることでその子の人生をも変える取り組みで



あるということ、また世界幸福度順位最下位といわれるアフガニスタンの子どもたちに夢をプレゼントし、贈った日本の子どもの変化や成長も期待したいと話されました。この活動に対しては、ランドセル収集の他(イベント開催も含め)、広報、(輸送費や学用品の)寄付、献品、小学校での国際授業等、さまざまな支援の形があるので、できることをしていただきたいと結ばれました。神戸ポートメンバーに、この活動の詳細を十分に理解していただけたのではないかと思います。

続いて、『いっくん支援』として、お母様の山本智子さんから育海さんの状況をご報告いただき、心ばかりの支援金をお渡しすることができました。いつも継続的な支援に感謝して



くださいます。できることは限られていますが、寄り添う気持ちを持ち続けたいと思いました。

最後に、宮内会長から『神戸ポートの年度の振り返り』がありました。例会で神戸ポートのメンバーと活動を見直す機会が得られたことで、メンバーの相互理解と足元を見直すことができたこと、コロナ禍にあっても最大限工夫した活動ができたことが良かったと振り返られました。

一年間の会長としてのお働きに感謝いたします。

(大野智恵)

<7月第2例会記録>

1.日時:2022年7月7日(木)19:00-20:20

2.場所:ZOOM 会議室 [遠隔]

3.出席者: 大野勉、大野智、小田、中山、松田、水野、宮内、細見、山田 9名 ゲスト:幸田 1名

4.内容:

(1)6月第1例会

・日時:2022/6/22(水)19:00-20:20

・場所:神戸 YMCA 三宮会館&ZOOM

・出席率:12+メーキャップ1(井内、井上、細見)=

15÷18名(出席率対象会員数)=83.3%

・内容:・卓話「思い出のランドセルギフト」

東京むかでクラブ櫻井啓子メネット

・いっくん支援金贈呈

(2)6月度活動報告

・6/4(土)～5(日) 東日本区大会 オンラインのみ
大野勉、山田

・6/11(土)西日本区大会 12:30～18:00

現地:大野智、大野勉、山田、中山

オンライン:宮内、水野、井上

・6/13(月) 思い出のランドセルギフト実行委員会

(3)7-8月のクラブ例会

・7月第1例会:7/27(水)18:30-20:20 ハイブリッド
キックオフ例会

・幸田兵衛さん入会式・部長公式訪問

・卓話「2022年YMCA 今、そしてこれから」井上総主事

・会長所信表明(活動計画)、

ドライバー:丹羽

・8月第2例会:8/4(木)19:00-20:20 オンライン

・8月第1例会:8/24(水)18:30-20:20

『日本のロボット産業』吉田由美7イブ(大阪なかのしま)

・神戸真生塾夏まつりへの参加はなし。

例年通り支援を行う

(4)今後の予定、他クラブ例会等

・7/16(土)六甲部第1回評議会 14:00-16:00 神戸 YMCA

評議会 10名(内2名ZOOM)、懇親会7名参加予定

・7/19(火)東京むかでクラブ例会 17:30-19:45

・7/22(金)石巻広域クラブ例会 17:30-19:45

・7/14(木)19:30 思い出のランドセルギフト実行委員会

大野智、大野勉

・7/14(木)19:30-第1回地域奉仕事業委員会

・11/12(土)13:00-16:00 六甲部部会 宝塚ホテル

(5)協議課題

・新年度クラブ計画書 行事確認、予算確認

(次年度クラブプログラム計画書 別紙資料参照)

8月第2例会にて予算案提出予定

・まなびと文化祭 2023年2月開催予定(4-5日は避ける)

・広義会員申請確認

井内ワイズより認定願いあり、承認 6名申請予定

神戸ポートクラブの規約を年度始めに共有する

(6)諸連絡

・8/16-18 東京むかで野尻キャンプ

・9/17-19 YYY 余島ユース・シニアキャンプ

<会員投稿>

盛夏直前！

宮内伸浩

今年は梅雨があつという間に開けてしまいました。とはいえその後、珍しい光景に出会いました。鉄拐山への登り路、斜面から街を見下ろすと、海で生まれた霧が綿菓子のように小さく纏まって、ふわふわと街並みから山の方向へ流れていました。霧の幕が巨大な塊で山へ押寄せる光景はたまに目にしますが、こんなのは初めてです。西日本区大会の緑のポロシャツに汗をぐっしょり染み込ませるようなコンディションです。「霧の中は冷やっこいんだろうな」自然とそんな思いが湧きました。そして6月はいよいよ高取山行きを再開しました。昨年内転筋を痛めてから9か月ぶりほどです。当然かもしれませんが、山は何の変わりもありませんでした。自分の山道の道のり感は少し鈍っていました。とは言っても、山にも僅かな変化がありました。「スズメバチ警戒」の注意書きが釣ってありました。この先へ進むときは自己責任で、ということです。三叉路なのでその道を選べることはできるのですが、怖い怖い。迷わず警告に従いました。そもそも山は彼らの領域ですね。外来の人間が文句を言える筋合いはありません。11月まで、彼らに遠慮しながら山道を辿る季節が続きます



神戸 YMCA レポート/ニュース

1. 神戸 YMCA 大会

6月25日、神戸 YMCA 三宮会館チャペルにおいて、2022年度神戸 YMCA 大会が開催されました。総会構成員、列席者、オンライン参加者と約90名の方々にご参加いただきましたこと、心より御礼申し上げます。礼拝では「隔てのない命令」と題して、橋本祐樹先生（関西学院大学神学部准教授）にメッセージをいただきました。コロナ禍で直接交わる機会が長く得られませんでしたので、久しぶりにお会いできた方々がそれぞれに近況を語りあう機会にもなりました。



2. 七夕飾り

7月、神戸 YMCA 三宮会館に、専門学校生を主とする様々な願いが込められた彩り豊かな短冊が飾られました。平和への祈り、将来への夢、とりわけ夏期実習に臨むホテ



ル学科の学生たちは期待を抱きながら短冊へ想いを綴りました。

3. 世界 YMCA 大会

7月3日～8日、デンマークのオーフスで、第20回世界 YMCA 大会が開催されました。現地参加約1,000名、オンライン参加1,000名と過去最大の大会となり、日本からも12名が現地参加、44名がオンライン参加となりました。大会では「VISION2030」が採択され、新会長、及び、新役員等も選任されました。また会の中ではワイズメンズクラブ国際協会100周年の記念式典も行われ、次期アジア太平洋地域会長の利根川恵子さん（川越クラブ）も参加されました。同時開催された世界 YMCA 退職主事会の会長に山田公平さん（元同盟総主事、前 APAY 総主事、YMCA リエゾン国際事業主任、宇都宮クラブ）、同アジア会長に島田茂さん（とやまクラブ）が選出されましたことも合わせてご報告いたします。



神戸 YMCA から職員がオンライン参加しましたが、世界には YMCA があり、想い、願い、それぞれに繋がっていることが再認識できた、という報告がありました。第20回大会テーマである「IGNITE（火をつける）」は、これから変化を重ねていく、その歩む道に灯をともし意味もあることだと存じます。

ベンさんのスリランカ訪問（6月23日～26日）

23日朝一番の伊丹発、羽田、シンガポールを経由して最後はスリランカ航空でコロンボ北部バンダラナイケ国際空港には午後9時ごろ着。出迎えていただいたミルロイ理事に会えて、ホッと息をつく。すぐにホテルへ直行。就寝。翌朝のジョギングは早朝から出勤する人の間を縫って走ることになり、超スローでいく。明日の区大会前日に、市内観光できた。ジェフリーバウアーの建築を見たり、歴史を学んだり、ディランタマラガムワという世界的に有名なカーレーサーに会ったりした。なかなか興味深いところ。コロンボクラブのアショカさんと現地ガイドにお世話になり感謝！ 昼食はなんと日本食。午後は休憩。（つづく）

<編集後記>

「太陽の光と時間は全ての人に平等に与えられている」と聞いた時、「なるほど」と思った。しかし、今、この2つのものでさえ、平等に与えられない世の中になってきている気がする。「自然に帰ろう！人はもともと自然の中から生まれたのだから」人と自然は一体のはずです。助け合って生きていきましょう！新しい一年の始まりに思う。（Ben）